

アンケートに見る
走行ルールの認識

自転車はどこを走ればいいのか？

小・中学生	372人
おとな	413人

に聞きました。



2007.3.

道はだれのもの？札幌21

はじめに

子どもたちやお年寄りなど交通弱者にとって、守った方が危険な交通ルールがあります。それは、道路交通法で定められた「自転車は道路のどの部分を走るのが正しいのか？」を定めたルールです。

法律では車道の左端を走ることが義務づけられていますが、大半の人々が、車道ではなく歩道の方を走っています。警察でも自転車の歩道走行は黙認しているのが現状です。

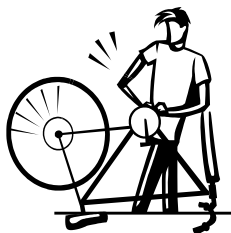
そして一方では「交通ルールを守れ」と指導しています。この矛盾に対して、とうとう法の改正に向けて国会でも審議が始まるようです。

私たちの会では、昨年多くの小中学生とおとなの方に、自転車の走行ルールがどのように認識されているかアンケートをお願いしました。その結果がまとまりましたのでお伝えします。

今後の話し合いや検討の際の資料としていただければ幸いです。

平成19年3月

「道はだれのもの？札幌21」代表 大場邦夫



アンケート調査の経過

この度は、予想を超えて 800 部近いアンケートを回収することができました。整理に嬉しい悲鳴をあげるほどで、ここに改めて皆様のご協力に感謝する次第です。

このアンケート調査は、子どもにとっての自転車の位地づけを、小中学生自身に聞くと共に、自転車通行における決まりについての知識(教育の成果)を問うものです。一方で、その親御さんや先生など交通安全教育を施す立場にある方々を含むおとなに、小中学生の自転車について、どのように捉えているのか質問する形をとりました。詳しい趣旨については、[次ページの「アンケートご協力のお願い」](#)を参照してください。

アンケート実施期間

- ・ 2006 年 8 月末 ~ 11 月末

アンケート回収数

- ・ 子ども : 回答者数 = 372 名 (小学生 254 名、中学生 118 名)
- ・ おとな (上記の保護者等を含む社会人) : 回答者数 = 413 名

アンケートの対象者と具体的な配付方法

- ・ 大半は手渡しで一部郵送により依頼。
- ・ 当会会員を始めとする友人知己の協力者に。
- ・ 児童会館で許可を得て説明し、来館の児童の中から希望者に。
- ・ 小学校の管理職の同意を得て、職員全員と児童 1 クラス全員に。
- ・ まちづくりセンター所長の理解と協力により町内会の会合において。
- ・ 民生・児童支援委員協議会会長の快諾を得て定例会の場で説明し。
- ・ 学習塾運営者の協力による取りまとめ。
- ・ 教育委員会を訪問し協力を依頼したところ配付を請負って頂けた。
- ・ 所属の市民活動グループのメンバーに依頼。
- ・ 知り合いの中から主として家族に小中学生がいる方に依頼。
- ・ 所属するサイクリストグループの会員に依頼。
- ・ 札幌市内のほか石狩市、岩見沢市、北広島市在住者からも回収。

以下の「アンケートご協力をお願い」を添えて、回答を依頼

アンケートご協力をお願い

北海道の短い夏を、いかがお過ごしでしたか？

私達「道はだれのもの？札幌 21」は、「道はだれのもの？」と問いかけ、交通環境の改善を求め、10年近くささやかな市民活動を続けてきました。中でも、人と車の中間に位置する自転車に焦点を合わせ、学習会、講演会、イベントなどを通じ、走行空間の問題を探ってきました。

自転車は環境に良い優れた乗り物ですが、車道では安全を脅かされ、歩道を走れば歩行者の迷惑になりがちです。自転車の交通事故の内、各年代層における死傷者数は10代が1番多いと言う深刻な現実があります。大切な命がこれ以上失われる事のないよう、大人社会は本気で向き合わなければなりません。

さて、「道路交通法」で「軽車両」に位置づけられた自転車の交通ルールですが、子供達はどの時点で学び、正確に理解し、実践できるようになるのでしょうか？学校等で行われている交通安全教育の中で、自転車については、どの程度学んでいるのでしょうか？そして、先生方はもとより、児童・生徒の保護者自身が、自転車の交通ルールや安全について、どう具体的に注意を払っているのでしょうか？そもそも、現代の車社会は、子供の自転車走行を前提にしているのでしょうか？

そこで、この度私達はアンケート調査を企画しました。お忙しい中恐縮ですが、同封のアンケートにご記入の上、ご返送よろしくお願いいたします。

<以下略>

関連する調査も併せて実施

- ・歩車分離信号機設置の交差点における自転車の横断方法の実態調査。
('06年10月～11月、札幌都心部の交差点において30分間または1時間、自転車がどちらの立場で通行しているのか、それぞれの台数をカウント)
- ・'06年4月～12月、交通安全教育を担う関係機関を訪問し、特に小中学生の自転車に対する交通安全指導の内容や安全教室の実施状況について面談。

目 次

はじめに	1
アンケート調査の経過	2
小中学生の回答	9
<自転車について（小中学生）>	
自転車についてあなたはどのように思っていますか？	11
学校では自転車の乗り方や、安全に走るための学習が行われていますか？	13
自転車の乗り方や安全についてもっと学びたいと思いますか？	13
「はい」と答えた方。どんなことをもっと学びたいですか？	14
<自転車の走行場所について>	
法律では、自転車は歩道を走ってはいけないことを知っていましたか？	15
自転車は法律では軽車両です。自動車と同じに車道を走らなければなりません。 そのことを知っていましたか？	15
この道路標識（「自転車通行可」の標識）を見たことがありますか？	16
この標識の意味は「自転車通行可」の歩道ということです。 この歩道は自転車で走ることができます。知っていましたか？	16
<車道の走り方のルール>	
自転車は車道では車道の左端を走らなければなりません。知っていましたか？	17
信号のある交差点での右折方法を知っていますか？ 信号をよく見て右図（二段階による右折）のようにすすみます。	18

<「自転車通行可」歩道の走り方>

「自転車通行可」歩道でも歩道はあくまで歩行者優先であることを知っていましたか？ 19

自転車は「自転車通行可」歩道の車道側を走っていたら知っていましたか？ 19

横断歩道は自転車に乗ったまま渡れません。自転車をおしてわたります。
(歩行者優先のためです)このことを知っていましたか？ 20

自転車のマークのついた自転車横断帯は自転車に乗ったままわたれます。
知っていましたか？ 20

<その他のルール>

二人乗りは禁止されています。知っていましたか？ 21

手放し運転は禁止されています。知っていましたか？ 21

夜道の無灯火走行は禁止されています。知っていましたか？ 22

回答者のプロフィール(小中学生) 23

おとなの回答 25

<自転車について(おとな)>

小中学生の自転車についてどう思いますか？ 27

自転車の乗り方や、安全走行のための学習が学校で行われていると思いますか？
..... 28

あなたは子どもに自転車の指導をしたことがありますか？自分の子どもに限り
ません。 28

「ある」と答えた方。どんなことを教えましたか？ 28

<走行箇所のルール>

法律では自転車は歩道を走ってはいけないことを知っていましたか？ 29

自転車は道路交通法で軽車両に分類されており車道を通行しなければなりません。
そのことを知っていましたか？ 29

この道路標識（「自転車通行可」の標識）を見たことがありますか？ 30

この標識の意味は「自転車通行可の歩道」ということです。この歩道は自転車で
走れます。知っていましたか？ 30

<車道の走り方のルール>

自転車は、車道の左端を走らなければいけません。知っていましたか？ 31

信号のある交差点での二段階右折方法（図）を知っていますか？ 31

<歩道の走り方のルール>

「自転車通行可」歩道でも、歩道はあくまで歩行者優先であることを知って
いましたか？ 32

自転車は「自転車通行可」歩道の車道側を走ることを知っていましたか？ 32

横断歩道は自転車に乗ったまま渡れません。自転車を押して渡ります。（歩行者優先
のためです）知っていましたか？ 33

自転車マークのついた自転車横断帯は自転車に乗ったまま渡れます。
知っていましたか？ 33

<その他のルール>

二人乗りは禁止されています。知っていましたか？ 34

手放し運転は禁止されています。知っていましたか？ 34

夜道の無灯火走行は禁止されています。知っていましたか？ 34

<自転車の一般歩道走行について>

自転車の一般歩道走行について、子どもをどのように指導したいと思いますか？
..... 35

最後に、小中学生の自転車について、
問題点など、日頃考えていることをご自由にお書き下さい。 37

(* 設問 に寄せられた意見はボリュームがあるためプロフィールの後、37 ページからです)

回答者のプロフィール (おとな) 36

(参考資料・データ等)

・「歩車分離信号機」設置の交差点における自転車通行調査 (表 1) 52

・札幌市内の交通安全教室の実施状況 52

・年齢層別自転車関連交通事故件数 (表 & 図 A) 53

・軽車両の検挙件数 (表 B) 53

・自転車に係る指導警告票交付件数 (表 C) 53

(* 表 A ~ C は、自転車対策検討懇談会の「自転車の安全利用の促進に関する提言」'06.11 月より)

・主要国における自転車に乗っていて事故で死亡した人の割合 (表 D) 53

(朝日新聞'07.2 月 9 日付朝刊掲載記事:「自転車のあり方に関する研究」'05.11 月国土交通省交通政策研究所より)

小中学生の回答

次のような文を添えてアンケートを依頼し
372人から回答をもらいました。

小中学生の皆さんにお願い

自転車は環境に良いすぐれた乗り物ですが、現実には、自転車の交通事故の死傷者数は10代（みなさんの年代）が一番多く、大切な命がこれ以上失われないよう対策を立てることが急がれます。

みなさんは、自転車の交通ルールをどのように学び、正しく理解し安全に乗れるようになるのでしょうか？

学校などの交通安全教室で自転車についてどのくらい学んでいますか？

わたしたちは、会としてこのことを調査するためにアンケートを作りました。ありのままの答をえらんでください。

皆さんから寄せられた結果を整理し、どのように改善したら良いのか、市役所をはじめ交通安全に関係する団体に伝えて行く予定です。



自転車について（小中学生）

質問 ~ 質問 : 子どもたちが自転車をどう考えているか、また自転車についての学習実態について聞きました。

質問 自転車についてあなたはどのように思っていますか？
その理由があれば教えてください。

回答

(人)

	小学生	中学生	子ども全
1、便利で楽しい乗り物だ	188	76	264
2、まあまあよい乗り物だ	42	31	73
3、良いとも悪いともいえない	17	9	26
4、なるべく乗りたくない	2	2	4
5、自転車はなくてもよい	3	0	3
6、その他	2	0	2
計	254	118	372

1、の理由

(小学生)

- ・パツとってパツと帰ってこられるので
- ・歩いて行くと遠いけど自転車では近いと思うから
- ・はやいしあまりつかれないし風がきもちいいので...
- ・どこかに出かけるときも自転車に乗ればすぐに行けるから
- ・身近にあってすぐ使える
- ・すぐに行きたいところにつくから
- ・スピードが出るから
- ・運転免許がいらないから
- ・てがるに友達の家に行けるから
- ・遠い場所でも楽に行けるから
- ・歩くより早いから
- ・大体は遠くに行くから早く目的地について便利
- ・時間を短縮できる
- ・友達の家に行くとき乗っているから
- ・歩くより楽で速いから
- ・歩くより自転車の方が速くて便利だから
- ・歩いて行かなくてもいいから

(中学生)

- ・はやい
- ・歩くより速いから
- ・スーパー等一寸した所に行く時便利
- ・友達の家や習い事に金を使わず気軽に行ける
- ・風が気持ちが良い
- ・歩行するより速いし、お金がかからないため気軽に使える
- ・楽に目的地に行けるから
- ・遠くに金をかけないで行けるし、気持ちいい
- ・自転車は歩くより時間がかからないし頑張れば結構遠くまで行けるから

2、の理由

(小学生)

- ・なんとなく～く
- ・身近に行けて良い

(中学生)

- ・遠い所に行くときは気軽にのれるから
- ・乗っている時はいいが、歩く側になってみれば少し危ないから

3、4、共通の理由(両方に あり)

(小学生)

- ・ころんだったらいい

(中学生)

- ・坂道がたくさんあって大変だから

5、の理由

(中学生)

- ・坂道が多いので：楽しいけれど少し危険

質問 学校では自転車の乗り方や、安全に走るための学習が行われていますか？

回答

小学生	はい 61%	いいえ 22%	わからない 17%
-----	--------	---------	-----------

中学生	はい 34%	いいえ 52%	わからない 14%
-----	--------	---------	-----------

(人)

	小学生	中学生	子ども全体
1、はい	155	40	195
2、いいえ	55	61	116
3、わからない	44	17	61

質問 自転車の乗り方や安全についてもっと学びたいと思いますか？

回答

小学生	はい 47%	いいえ 34%	わからない 19%
-----	--------	---------	-----------

中学生	はい 22%	いいえ 56%	わからない 22%
-----	--------	---------	-----------

(人)

	小学生	中学生	子ども全体
1、はい	119	26	145
2、いいえ	87	66	153
3、わからない	48	26	74

質問 「はい」と答えた方。どんなことをもっと学びたいですか？ いくつでもつけて下さい。

回答

(人)

	小学生	中学生	子ども全体
1、もっと上手なうんてん。 (正しいうんてん、ブレーキやギアのつかいかたなど)	62	7	69
2、自転車の点けんのしかた。 (油の点けん、タイヤの空気の点けん、ライトの点けんなど)	47	18	65
3、道路を安全に走るルール。 (交通ひょうしきの見方、走ってよいところ悪いところなど)	71	15	86
4、その他	0	1	1
計	180	41	221

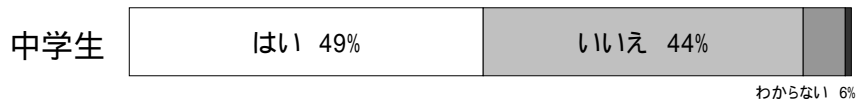
その他の内容
盗まれない方法

自転車の走行場所について

質問 , 質問 : 自転車走行の法律的な基本ルールである自転車の車道走行が児童生徒にちゃんと認識されているか? 特例である通行可歩道についてはどうか? 教育の成果を問いました。

質問 法律では、自転車は歩道を走ってはいけないことを知っていましたか?

回答



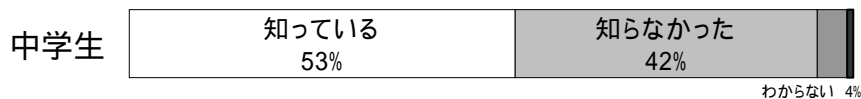
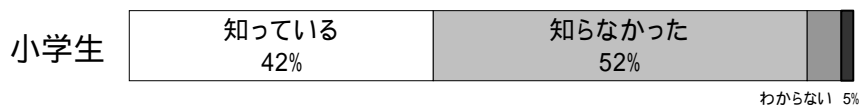
(人)

	小学生	中学生	子ども全体
1、はい	118	58	176
2、いいえ	121	52	173
3、わからない	14	7	21
4、その他	1	1	2

その他の内容 ・多少知っていた(中学生)

質問 自転車は法律では軽車両(けいしゃりょう)です。自動車と同じに車道を走らなければなりません。そのことを知っていましたか?

回答



(人)

	小学生	中学生	子ども全体
1、知っている	107	63	170
2、知らなかった	131	49	180
3、わからない	12	5	17
4、その他	4	1	5

その他の内容 ・ほどうでもしゃどうでもいいかとおもった(小学生)
・多少知っていた(中学生)

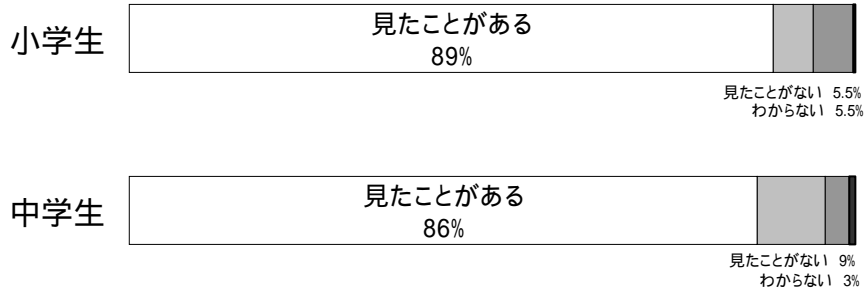
質問

この道路標識（どうろひょうしき）



を見たことがありますか？

回答



(人)

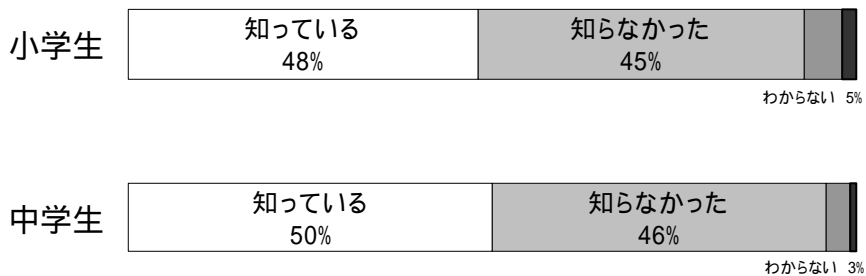
	小学生	中学生	子ども全体
1、見たことがある	225	102	327
2、見たことがない	14	11	25
3、わからない	14	4	18
4、その他	1	1	2

その他の内容 ・見たかもしれない(中学生)

質問

この標識（ひょうしき）の意味は「自転車通行可（つうこうか）」の歩道ということです。この歩道は自転車で走ることができます。知っていましたか？

回答



(人)

	小学生	中学生	子ども全体
1、知っている	122	59	181
2、知らなかった	114	54	168
3、わからない	13	4	17
4、その他	5	1	6

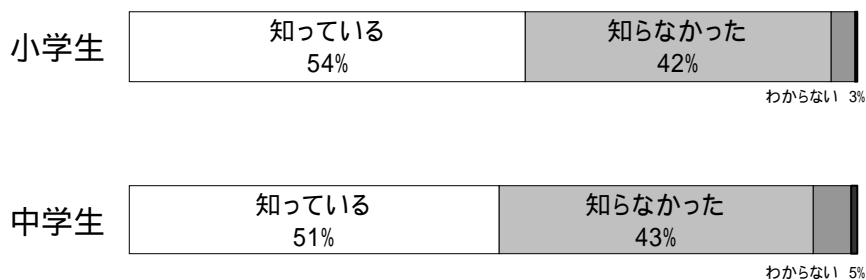
その他の内容 ・少し知っていた(中学生)

車道の走り方のルール

質問 , 質問 : 自転車は道路交通法では車道を走らなければなりません。ルールも道交法によって決められています。

質問 自転車は車道では車道の左端(ひだりはし)を走らなければなりません。知っていましたか？

回答



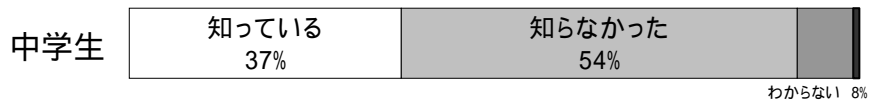
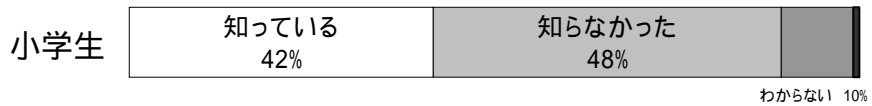
(人)

	小学生	中学生	子ども全体
1、知っている	138	60	198
2、知らなかった	107	51	158
3、わからない	8	6	14
4、その他	1	1	2

質問 信号のある交差点での右折方法
 (うせつほうほう = 右にまがる方法)
 を知っていますか? 信号をよく見て
 右図のようにすすみます。



回答



(人)

	小学生	中学生	子ども全体
1、知っている	106	44	150
2、知らなかった	121	64	185
3、わからない	25	9	34
4、その他	2	1	3

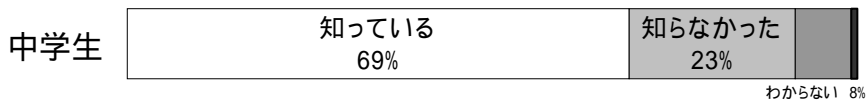
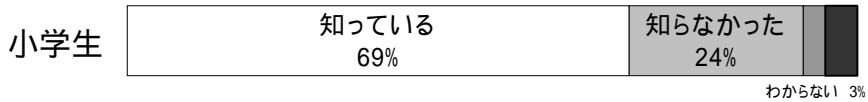
その他の内容 ・先週知った(中学生)

「自転車通行可」歩道の走り方

質問 ~ 質問 : 自転車は「自転車通行可」の歩道であれば、歩道を走れます。歩道走行のルールも決められています。

質問 「自転車通行可」歩道でも歩道はあくまで歩行者優先であることを知っていましたか？

回答



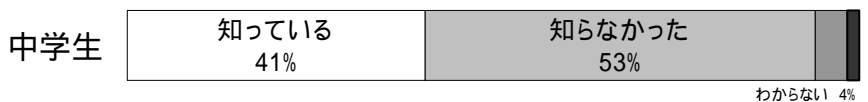
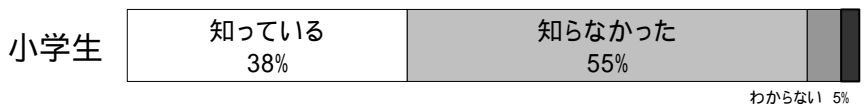
(人)

	小学生	中学生	子ども全体
1、知っている	175	81	256
2、知らなかった	60	27	87
3、わからない	8	9	17
4、その他	11	1	12

その他の内容 ・少し知っていた(中学生)

質問 自転車は「自転車通行可」歩道の車道側を走っていることを知っていましたか？

回答



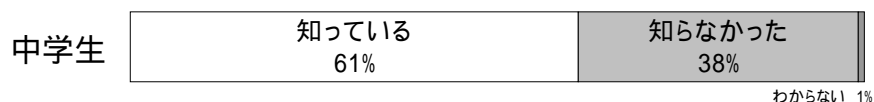
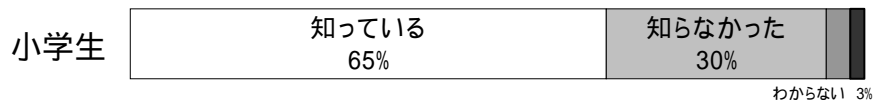
(人)

	小学生	中学生	子ども全体
1、知っている	97	48	145
2、知らなかった	139	63	202
3、わからない	12	5	17
4、その他	6	2	8

その他の内容 ・昨日知った(中学生)

質問 横断歩道は自転車に乗ったまま渡れません。自転車をおしてわたります。
(歩行者優先のためです)このことを知っていましたか？

回答



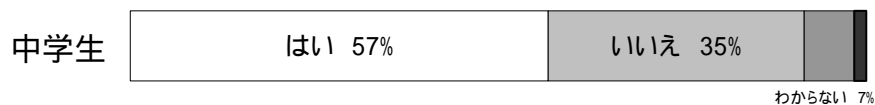
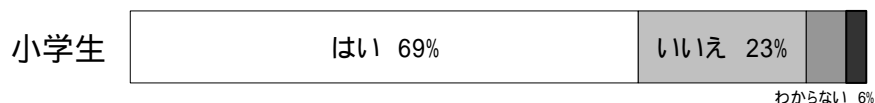
(人)

	小学生	中学生	子ども全体
1. 知っている	165	72	237
2. 知らなかった	76	45	121
3. わからない	8	1	9
4. その他	5	0	5

その他の内容 ・知ってるけどやってなかった(小学生)
・知っているが実行してない(中学生)

質問 自転車のマークのついた自転車横断帯(おうだんたい)は自転車に乗ったままわたれます。知っていましたか？

回答



(人)

	小学生	中学生	子ども全体
1. はい	175	67	242
2. いいえ	58	41	99
3. わからない	14	8	22
4. その他	7	2	9

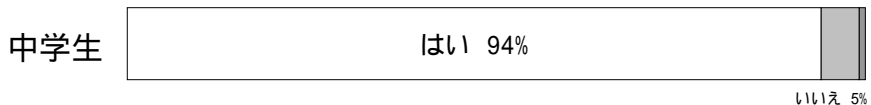
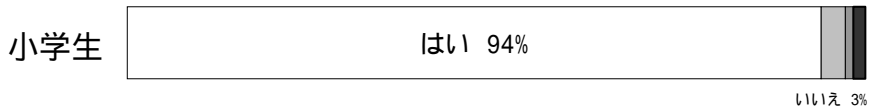
その他の内容 ・先月知った(中学生)

そ の 他 の ル ー ル

質問 ~ 質問 : 二人乗り禁止など 100%認識されていると思われるルールを聞いてみた。

質問 二人乗りは禁止(きんし)されています。知っていましたか?

回答

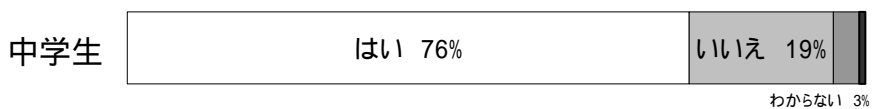
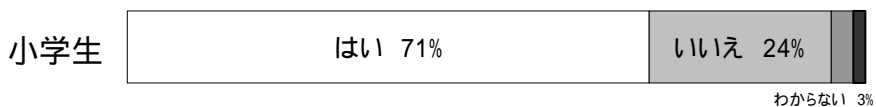


(人)

	小学生	中学生	子ども全体
1、はい	239	111	350
2、いいえ	8	6	14
3、わからない	3	1	4
4、その他	4	0	4

質問 手放し運転は禁止されています。知っていましたか?

回答



(人)

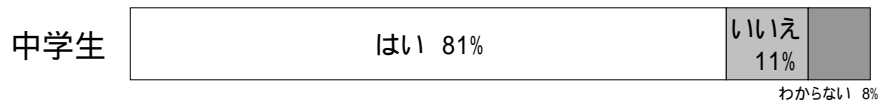
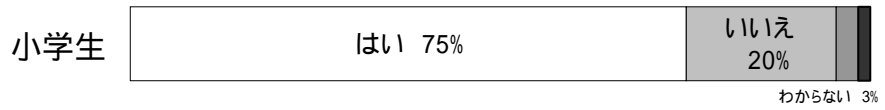
	小学生	中学生	子ども全体
1、はい	180	90	270
2、いいえ	62	23	85
3、わからない	8	4	12
4、その他	4	1	5

その他の内容

- ・知っているが...(小学生)
- ・知っているけどやっている(小学生)
- ・知っているがときどきする(小学生)
- ・昨日知った(中学生)

質問 夜道の無灯火走行は禁止されています。知っていましたか？

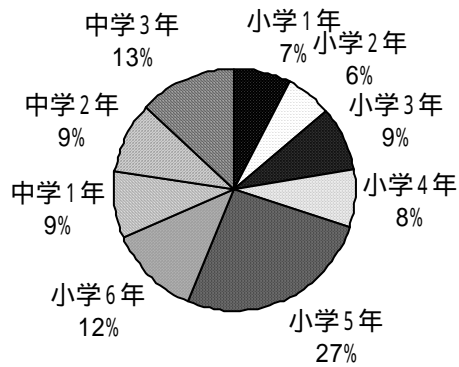
回答



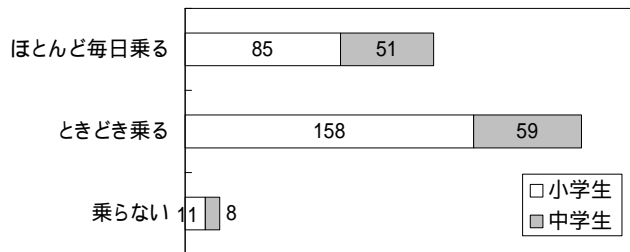
(人)

	小学生	中学生	子ども全体
1、はい	191	95	286
2、いいえ	51	13	64
3、わからない	8	10	18
4、その他	4	0	4

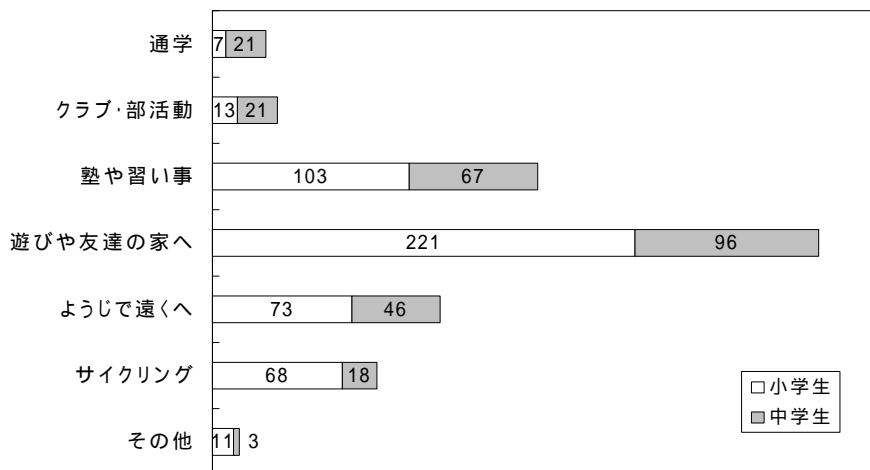
回答者のプロフィール（小中学生）



自転車に乗っていますか？（人）



どのようなとき自転車に乗りますか？（人）複数回答



その他の内容(小学生) ・近くに買い物に行くとき ・ひまつぶして乗る。
 ・ストレス解消のため ・自転車公園で遊ぶ時のみ

おとなの回答

おとな 413 人から回答をいただきました。

男女比はおよそ 1 : 3

女性が多く回答

半数は高校生以下の子どもを持ち、
自転車の安全性に関心が高い層と言える

なお、問 ~ は、子どもと共通の設問

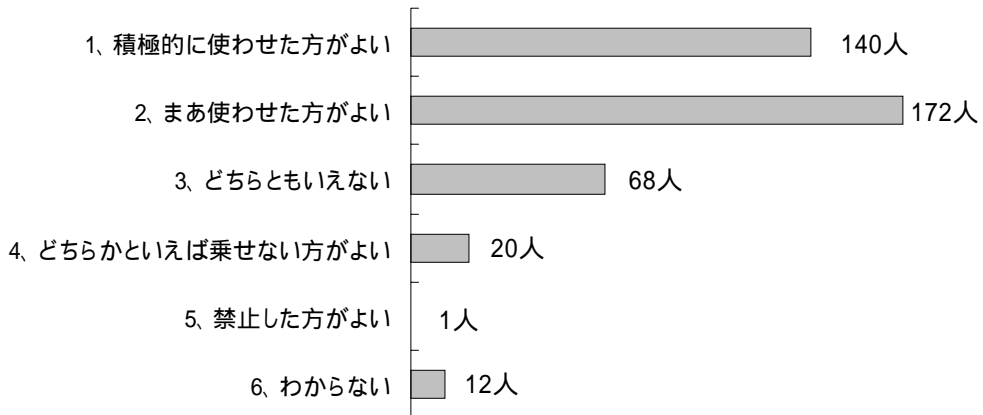


自転車について（おとな）

質問 ~ 質問 : 大人は子どもの自転車をどのように考えているか。また、子どもの学習実態をどのように認識しているのか？

質問 小中学生の自転車についてどう思いますか？
その理由があれば教えてください。

回答



1、の理由

- ・忙しい子どもたちに時間が歩くより短縮されるので。
- ・親が車で連れて行くよりは自転車に乗る方が道もおぼえられるし危険な事もきちんと分かる。
- ・すぐ車に乗る習慣がつく前に近い所は自転車を使う環境に優しい暮らし方を身につけるため。
- ・若い時の方が覚えやすく忘れにくい。

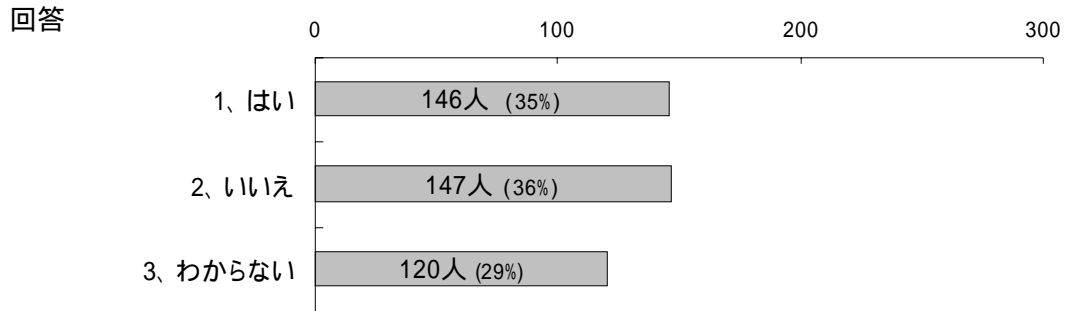
2、の理由

- ・一般的な生活習慣として乗り方を知っておく必要がある。
- ・禁止しても乗るので正しいマナーを指導する。
- ・便利
- ・使っても良いという言い方へ、放課後や自分の時間は自由
- ・移動が早い
- ・子どものときに正しい交通ルール、乗り方などをきっちりと教える。
- ・車道、歩道、路側帯の区別がはっきりしていない所が多く危険

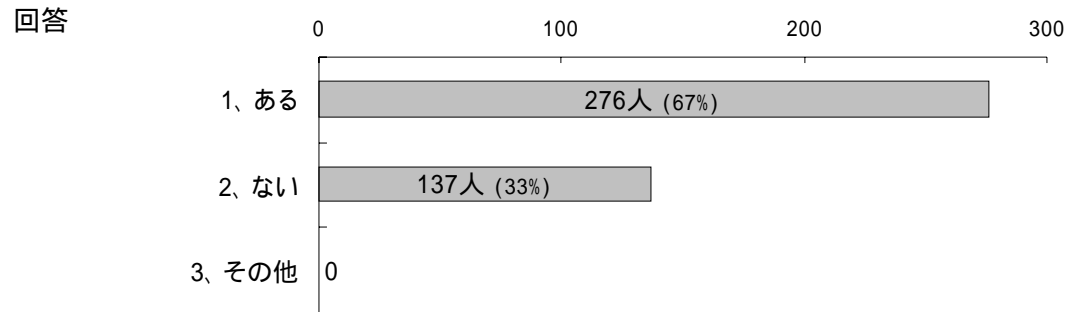
3、の理由

- ・小学低学年では交通法規を知らず、自ら危険にさらしているので、親の目の届く範囲で。
- ・自転車の乗り方に問題がある。
- ・車を運転していて非常に危険と感じる。
- ・ルールをきちんと理解しているか不安
- ・事故の心配がなければ問題はないが...

質問 自転車の乗り方や、安全走行のための学習が学校で行われていると思いますか？

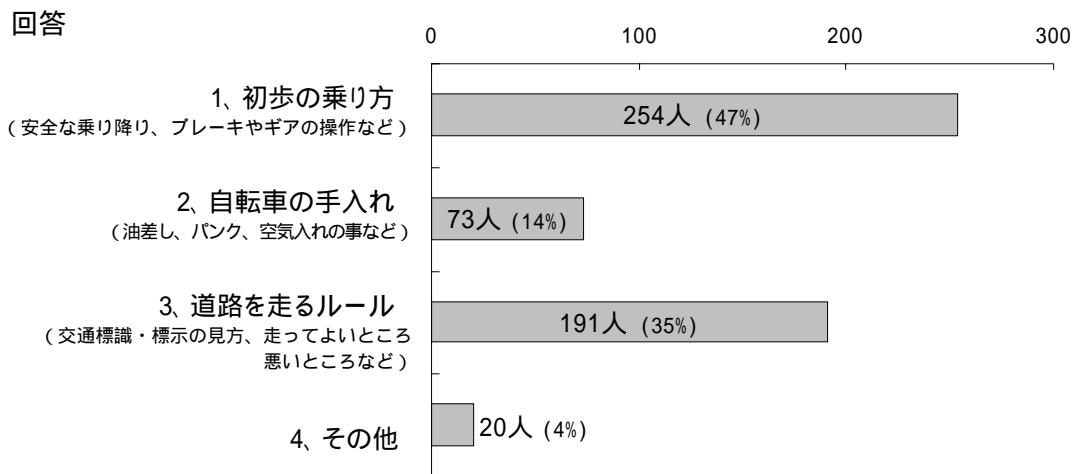


質問 あなたは子どもに自転車の指導をしたことがありますか？自分の子どもに限りません。



その他の内容 ・横に連なって走っている時、二人乗りなど。

質問 「ある」と答えた方。どんなことを教えましたか？（複数回答）

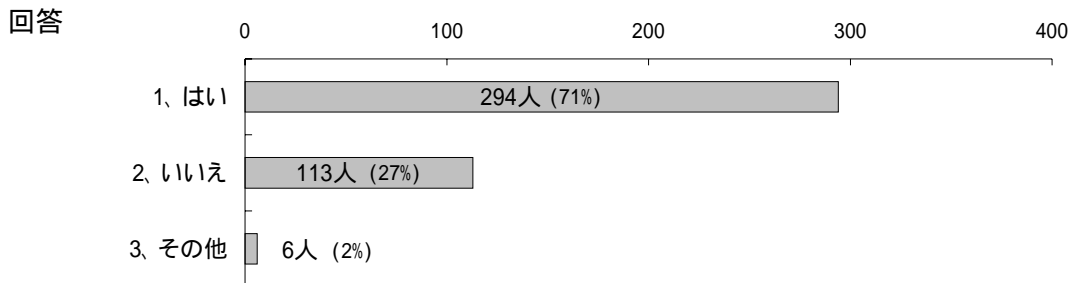


その他の内容 ・夜間の点灯。駐輪場所。
 ・事故について、バスから降りる人に注意すること。
 ・二列にならない、ライトを付ける、左右を見て走る。
 ・大きな道路に出るとき、一時停止をすること。

走行箇所のルール

質問 ~ 質問 : 自転車走行の法律的な基本ルールである自転車の車道走行が大人にちゃんと認識されているか? 特例である通行可歩道についてはどうか?

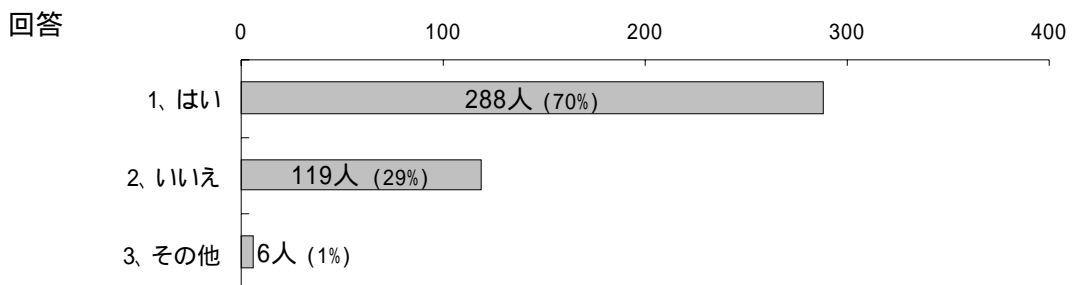
質問 法律では、自転車は歩道を走ってはいけないことを知っていましたか?



その他の内容

- ・何となく
- ・知っていますが実際に走っているときは全く頭にはいっていません。歩道を走ってしまいます。
- ・何となく言われれば。

質問 自転車は道路交通法で軽車両に分類されており車道を通行しなければなりません。そのことを知っていましたか?



その他の内容

- ・何となく
- ・親が話していたような気がする。

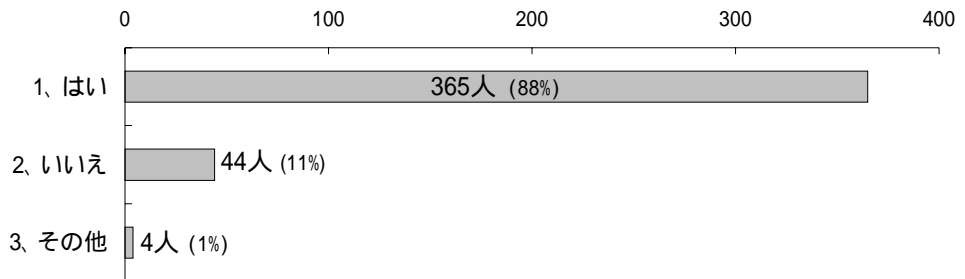
質問

この道路標識



を見たことがありますか？

回答



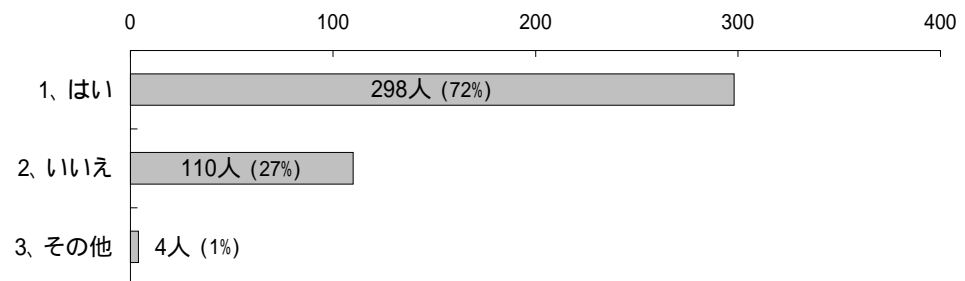
その他の内容

- ・あるような気がするが、どこにあるか、近くでは見ていない。
- ・あまり気にして見たことがない。
- ・記憶なし
- ・覚えていない

質問

この標識の意味は「自転車通行可の歩道」ということです。この歩道は自転車で走れます。知っていましたか？

回答



その他の内容

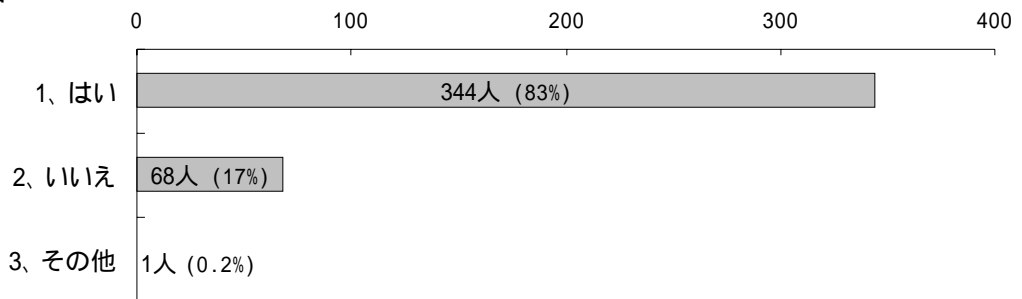
- ・そうかなと思っていた

車道の走り方のルール

質問 ~ 質問

質問 自転車は、車道の左端を走らなければなりません。知っていましたか？

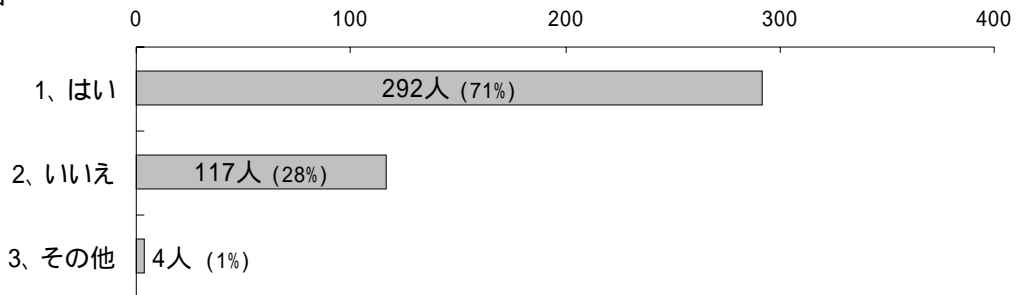
回答



質問 信号のある交差点での二段階右折方法（右図）を知っていますか？



回答



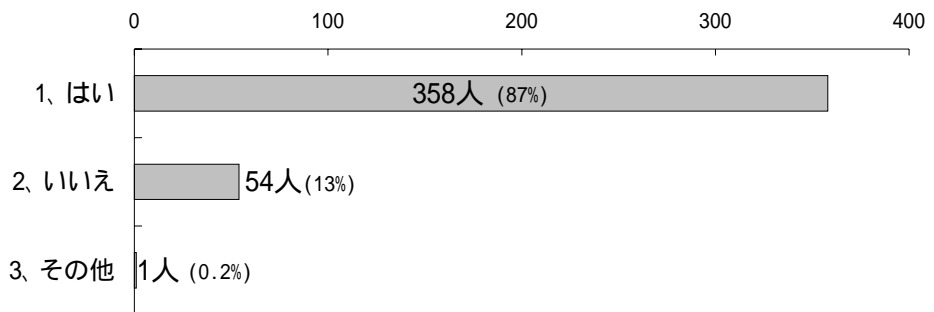
その他の内容 ・四つ辻のときは、必ずその反対側にも信号機があり、その信号機に従って移動している。

歩道の走り方のルール

質問 ~ 質問

質問 「自転車通行可」歩道でも、歩道はあくまで歩行者優先であることを知っていましたか？

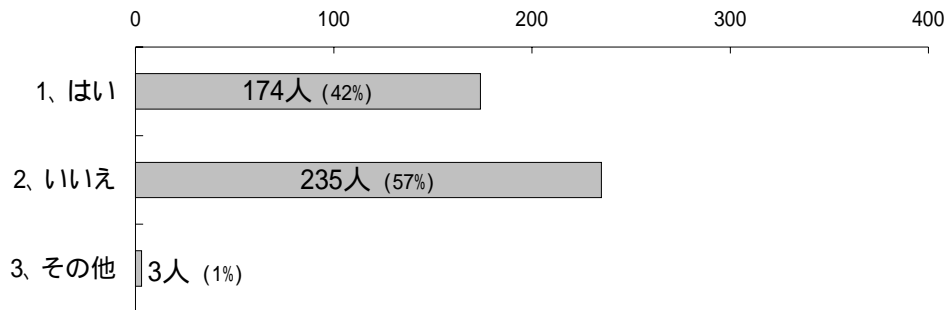
回答



その他の内容
・知ってはいないが多分そうだと思う。
・1、しかし車道を走る自転車は殆どないので、歩行者も車道の近くは自転車が通ることがあると思って歩く必要がある。

質問 自転車は「自転車通行可」歩道の車道側を走っていましたか？

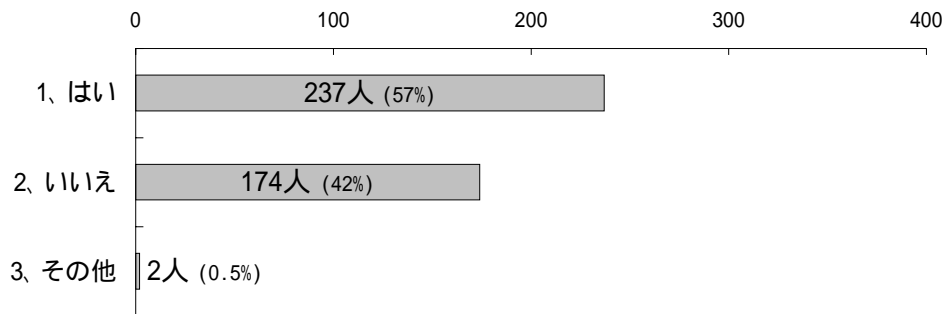
回答



その他の内容
・歩行者の状況にあわせている。
・知っていたというより、考えたらそうかなと思う。

質問 横断歩道は自転車に乗ったまま渡れません。自転車を押してわたります。
(歩行者優先のためです) 知っていましたか？

回答

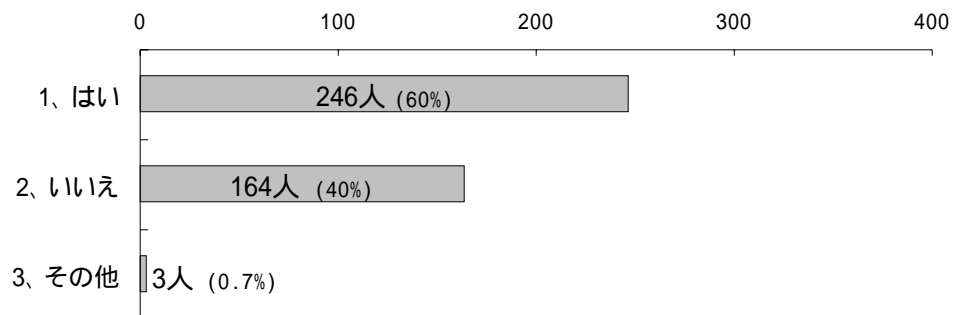


その他の内容

- ・最近知りました。
- ・歩行者がいない時はそのまま走ってしまいます。
- ・知っているが殆どおりない。

質問 自転車のマークのついた自転車横断帯は自転車に乗ったままわたれます。
知っていましたか？

回答



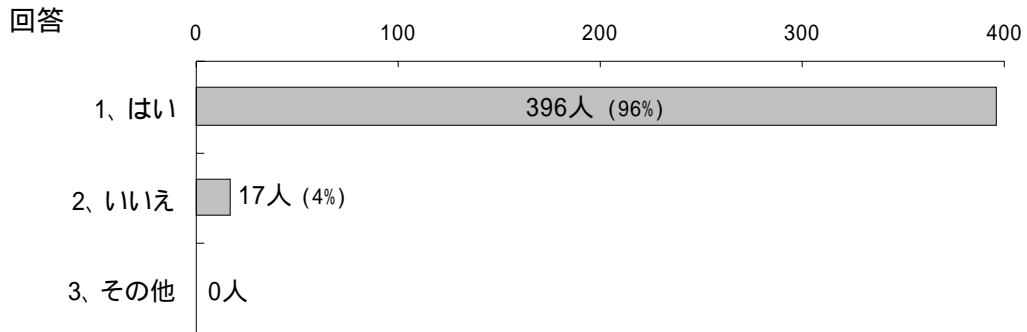
その他の内容

- ・信号のみに気をとられています。

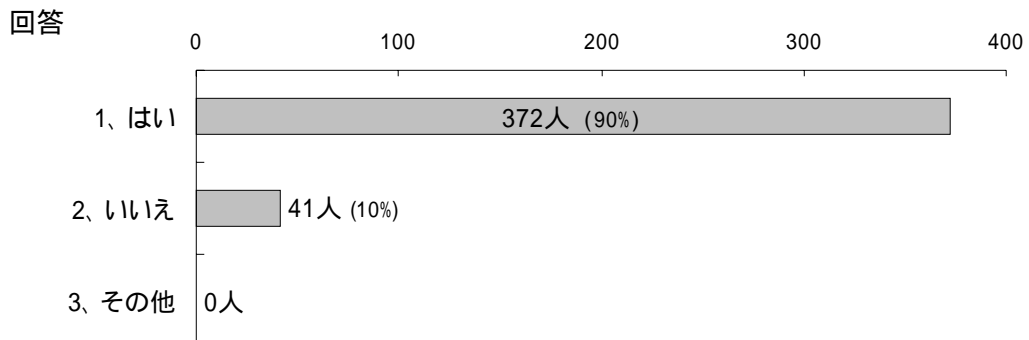
その他のルール

質問 ~ 質問 : 二人乗り禁止など 100%認識されていると思われるルールを聞いてみた。

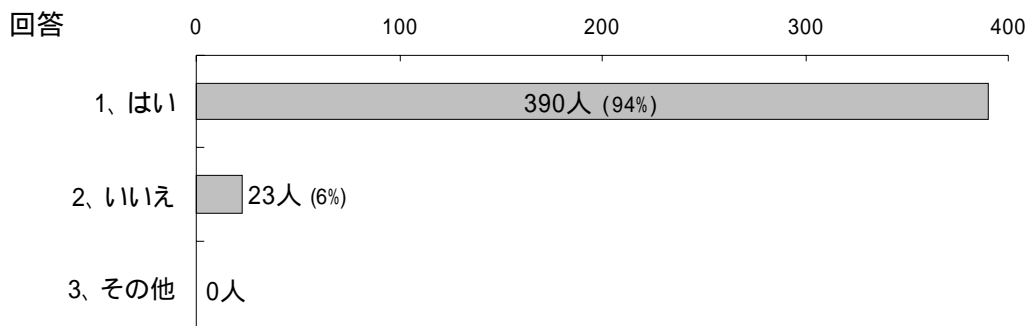
質問 二人乗りは禁止されています。知っていましたか？



質問 手放し運転は禁止されています。知っていましたか？



質問 夜道の無灯火走行は禁止されています。知っていましたか？



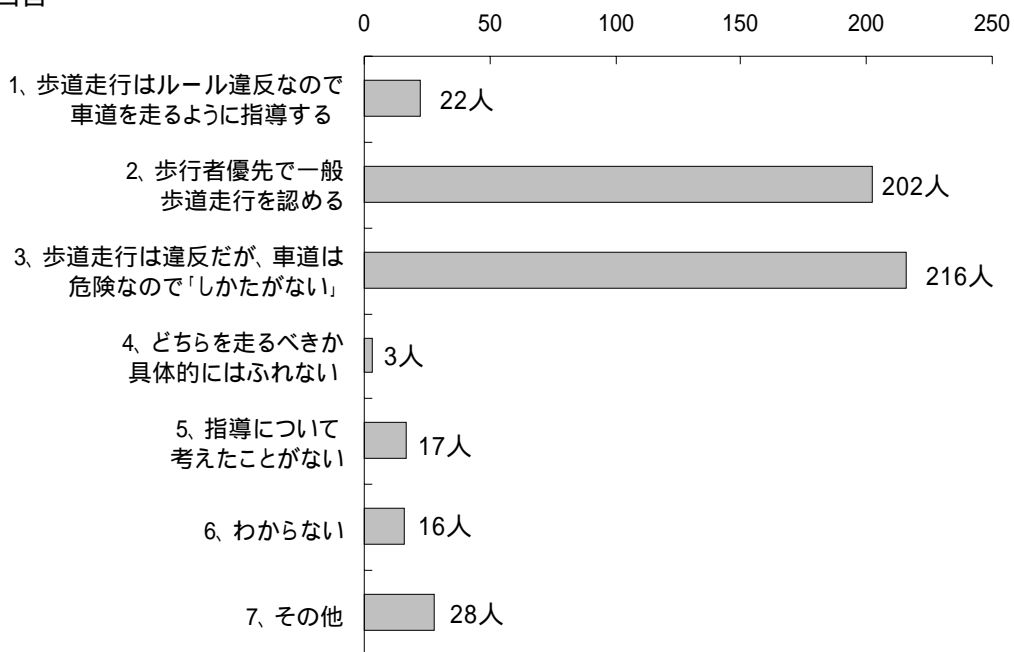
その他の内容 ・質問 ~ は禁止以前のマナーとして当然。

自転車の一般歩道走行について

現実問題として法律通りの車道走行は小中学生にとってあまりにも危険です。「自転車通行可」の歩道は少なく、歩行者と混在して一般の歩道を自転車が走っているのが現状です。そのことについて聞きました。

質問 自転車の一般歩道走行について、子どもをどのように指導したいと思いますか？

回答



3、について

- ・ 車で走行していると、自転車はいつ倒れてくるか分からないのでとても怖い。一番良い方法は歩道を整備し、自転車の乗り方のマナーを大人・子どもに教えて、歩道を(広く)走るのが当人も安心なのではないかと思う。坂道などは子どもたちが面白がって、ジェットコースターのように目の前を走り過ぎて行く。家庭での教育が問われると思う。

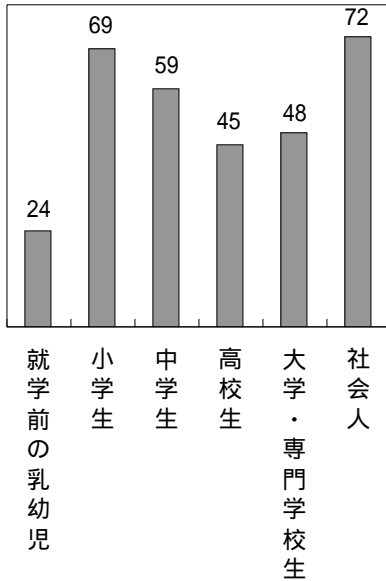
- ・ 歩行者の立場としてみると、自転車の走行がとても乱暴で怖い！！

7、について

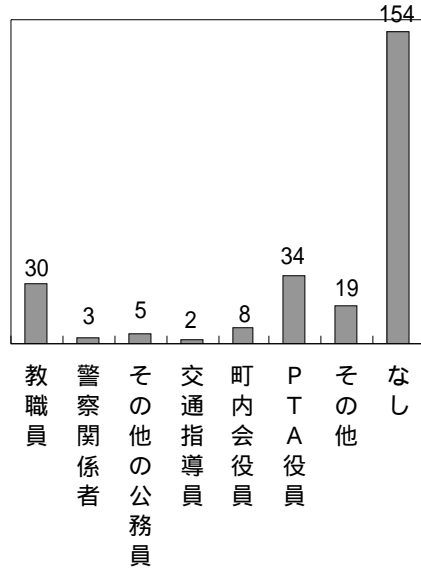
- ・ 歩道に自転車走行帯をつける
- ・ ただし、歩行者に充分注意するよう教える。
- ・ 歩道ではベルを鳴らすのではなく、降りるなどして歩行者に迷惑をかけないようにする。
- ・ 1にしたいが危険なので実際には出来ない
- ・ 中学生の息子には1、小学生の娘には2
- ・ 正しいルールを守らせる為には、ある程度の年齢に達しなければ難しいと思う。小4位から学校での指導など親も一緒にルールを確認すべき。
- ・ 子どもがいないので考えたことがないが車道は狭すぎて危険なので2を指導できればいいと思う。

回答者のプロフィール（おとな）

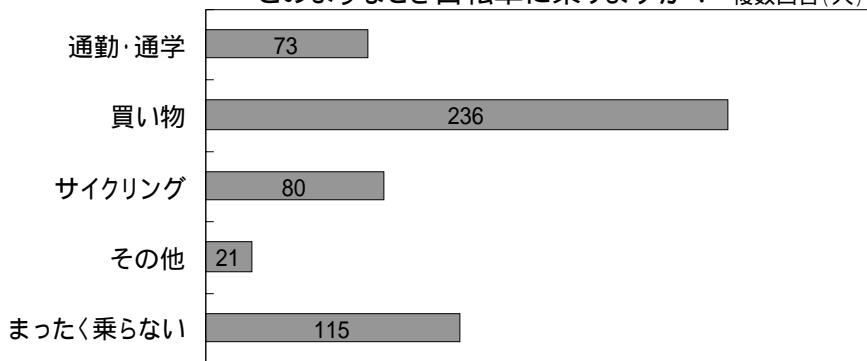
子どもがいる場合の内訳
複数回答（人）



交通安全の指導的な立場
（人）



どのようなとき自転車に乗りますか？ 複数回答（人）



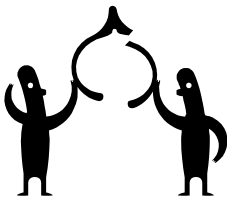
その他の内容
・新聞配達
・孫と公園で遊ぶ

アンケートの最後の設問

小中学生の自転車について

おとなの自由意見

回答を寄せられたうちの半数以上
223人が
問題点の指摘や
自転車に対する思いを
自由に書いてくださった。
項目を作って大まかに分類してみた。



小中学生の自転車について、問題点などの自由意見

大人用アンケートの回答者413人中223人が、この欄に意見を寄せてくださった。現状をそれぞれに捉えながら、前向きな改善案や提案も多く見られた。その影で事故への不安が強く「子供には自転車を許可したくない」と言った母親の声も聞こえ、子どもが伸びやかに育つ環境が、既に失われつつあることを改めて痛感した。以下、大まかにグループ分けし全文を列記した。(末尾の表記：敬体は勝手ながら常体に揃えさせて頂いた)

質問 (おとなのみ)

小中学生の自転車について、問題点など日頃考えていることを自由にお書き下さい。

自転車専用レーン(道)の設置

- ・ 自転車だけで気持ちよく走れる道路があると良い。
- ・ 自転車専用道路(通路)の設置。
- ・ 道路に自転車専用の幅広いレーン(できれば、車道より一段上がっている)が、あればと切実に思う。
- ・ 誰が見ても分かるように歩道(または車道)で自転車走行ラインをはっきりさせる。(実際に色を変えて分かりやすい所もある)
- ・ 自転車専用道の整備。
- ・ もっと自転車優先道路を整備すべき。
- ・ 子供の生活圏に自転車専用道路を作ることが必要。
- ・ 中心部は一車線、自転車専用にすると駐車も減って良いと思う。

(道路環境の改善)

- ・ 道路そのものを変化させる必要がある。
- ・ もっと安心して走れて、段差の無い道がほしい。早急に!
- ・ 車を規制してでも自転車が走りやすい道路をつくると良い。
- ・ もう少し自転車道路の幅が欲しい。
- ・ 自転車道整備を怠っている行政の怠慢の責任は大きい。現状では小学生の自転車走行の安全性は、各家庭、子供自身など、個々の努力に負っている部分が大きい。
- ・ サイクリングロードを整備して自転車の旅の楽しさを感じて欲しい。

(棲み分け)

- ・ 車、自転車、歩行者が各々別々に通行できると良いと思う。
- ・ 歩行者用と自転車用、車用ときちんと分離した道を作る様にしていけばと思う。

- ・ 歩行者と自転車、車両が共存できる法整備が急務であろうが、とても難しい事だと思う。
- ・ 理想は歩道と自転車道とが分かれていると歩行者も自転車も安心(安全)だと思う。

自転車レーンを歩道に設置。

- ・ 自転車を歩道の拡幅により区別。
- ・ 歩道を広く取り、自転車優先道というのが有っても良いのでは？
- ・ 歩道の幅が広い所は特にタイルの色を区別して自転車走行と歩行の目印にする。
- ・ 歩道にサイクリング道路をきちんとつくと良い！

(車道は危険なので)歩道走行を・・・

- ・ 小学生でなくても車道を走るのは大変怖い。歩道を走っても良い事にして欲しい。
- ・ 歩道を走っても良い事にして欲しい。
- ・ (自転車)が歩道走行ができるように法律を見直すべき。
- ・ 車道を自転車が走る危険性について検討すべきと考える。
- ・ 親としては子どもたちに車道を走らせる事は法律違反でも出来ない。歩行者優先を基に歩道すべて走行可にしていただきたい。例えば、法律内容は大人限定で、特例で子ども、老人は～と、いう感じでも措置していただきたいと思う。
- ・ 法律的には、自転車は車道走行すべきなのだろうが、余りにも危険が多いので、歩道を走るように指導しているのが現状。
- ・ ヘルメットをかぶらせたい。車道は危険すぎる。絶対走らせたくない。
- ・ 車と自転車が近すぎて心配なので、小学生幼児には歩道を走るように指導している。

歩道走行の問題点

- ・ 歩道走行は迷惑だと思うので、良い方策があればやめさせたいと思う。
- ・ 自転車の走行も危険を感じる場面が多いので歩道はやはり歩行者の物であるべきなのかもしれない。
- ・ 小中学生だけではありませんが、スピードの出しすぎなど人と接触しそう。
- ・ ベルの音があまり聞こえない。鳴らしたら失礼かと思いきやなかなか鳴らせない。後からスピードを出して横を通り過ぎると、歩行者はびっくりする。
- ・ 後ろから人に近づいたらベルを鳴らした方がいい。
- ・ 確かに最近自転車の乗り方が危険だと思う。歩行者に注意する事も教えなければと反省した。
- ・ 子供が歩行者にぶつかりそうになる事も多い。
- ・ 車が多いため、歩道を走らなくてはいけない現状なので、やむを得ず歩道走行時は、歩行者(特にお年寄りや幼児)には、十分な注意を払うよう注意が必要。
- ・ 歩道を走るなら、自転車の乗り方などを小さいときからルールを含め、教えて行くことが大切。

- ・ 狭い歩道で歩行者を抜かす時は一声かけて。
- ・ 歩道を歩いているとチリンと鳴らされ、慌てて道をあけて危険な思いをする。自転車のルールが分からない方が多いと思う。
- ・ 歩道で時々自転車にぶつかりそうになるので、もう少し何とか方法が無いものかなあと思っている。
- ・ 歩行者優先。
- ・ 自動車と同じだけれど、歩行者優先を忘れてるように感じる。
- ・ 以前自転車に乗った時は、やはり歩行者とのすれ違い等が気になり乗らなくなった。
- ・ 歩いている人に対する気配りを教えたい。
- ・ 周りを見ていない。広がって走っている。真っ直ぐに走っている事が少ないので危険。
- ・ 歩行者がお年寄りの場合、後から抜く時気をつける。
- ・ 歩行者がいる場合は自転車から降りるとか歩行者に充分注意するよう教える。
- ・ 殆どの歩道は狭く、歩行者と自転車が一緒に利用するには無理もある。
- ・ 歩道で歩いていて自転車にぶつけれ、そのまま何の反応も無いまま、走り去られたことがある。
- ・ 歩道走行は歩行者にとっては迷惑だと思う。
- ・ 特に中学生ではお年寄りとの接触、怪我をさせてしまうのではないかといつも不安。

車道走行の問題点

- ・ 小学生に車道を走るようには危険で指導できない。
- ・ 小中学生には（車道は）危険すぎるので止むを得ない。
- ・ 小学生でなくても車道を走るのは大変怖いと思う。
- ・ 車道を走るのはとても危険で子供に指導はできない。
- ・ 車道を走行させるなど考えられない。
- ・ 車道を走行しなさいとはとても言えない。
- ・ 車道では車と接触しそうでハラハラする。
- ・ 車道は危険すぎて利用させられないのが現状。
- ・ 札幌市内の車道を小学生が走行するのは、車の風に巻き込まれ、たいへん危険なので、現状では、子供たちが自転車に乗っている時、車道は危なくて走らせることはできない。（大人でも無理だと思うので）
- ・ 車道は車走行が多すぎて危険。歩道も自転車と歩行者が接触する事が多くて心配。
- ・ 大きな道路では（車道走行は）やはり危険だと思う。
- ・ クルマが優先と思っている人が多い中で、車道走行は危険だと思う。
- ・ 車の運転手も車道に自転車がいるのは怖いのではないだろうか。
- ・ ここ2、3ヶ月で、車道駐車車の車に「前方不注意」のためぶつかる事故（軽傷でした）が3件、身近であった。
- ・ 現在の道路事情では、歩道、車道いずれを選ぶにも幅が狭く安全とは言えない。

- ・ 車道・歩道の区別の無い道路の交差点を曲がる時に、何も確認せずに曲がっている。
- ・ 歩道走行、車道走行共に乗り方によってとても危ない人がいると思う。
- ・ (視点を変えて・・・) 車道と一口に言っても、車の往来の激しい所、すいている所では違う。その混雑や時間帯に応じた走行の方法など、あるといいのだが。

車優先を見直す

- ・ 駐輪場は高すぎ、中心部は駐車料金を上げてクルマの乗り入れを規制すべき。現状は公共交通の料金の方が高いので、車が入りすぎだと思う。
- ・ 自転車にかぎらず、道路が車優先過ぎると思う。
- ・ 問題は車が多すぎると思う。大人がもっと車に乗らないでゆっくりして生活をすると良いと思う。
- ・ 小中学生に限らず、社会(国・道・市)が自転車利用についてあいまいな構えではなく、存在認知としてはっきりした利用の認め方をせねばならない。
(自転車社会のあり方) 徒歩 自転車 車 バス・電車(公共交通)

ルール(原則)に関して

- ・ ルールを決めて欲しい。
- ・ ルール指導をもっと知るイベントがあればよい。
- ・ ルールを含め見直しと徹底を指導しなくては！今のルールを単に守れば良いというものではない。
- ・ 車道、歩道のどちらを走行するにしても、それぞれにルールを守り、車道には急に飛び出さないことを、しっかり徹底して欲しい。
- ・ 「止まれ」で一時停止しないなど、基本的なルールが守られていないので、指導の必要があると思う。
- ・ 車が左折(右折)する場合、車を良く見る。車の構造を知る。
- ・ 自転車だけでなく歩行でもマナーが悪いので、交通マナーやルールという基本的なことを、しっかり指導していくべきではないかと思う。命の大切さも含め。
- ・ 自転車について、大人も子どもも、きちんとしたルールを学ぶ場が必要だと思う。
- ・ やはりルールは守って、安全第一に周りに注意して走って欲しい。
- ・ 知らないことが多かった。

自転車免許

- ・ 自動車免許を取りに行く時だけ、交通法規を教えられるのはおかしいと思うので、子供たちや自転車に乗る人も、全員免許を持たせるなどした方が良いと思う。
- ・ (30年前)私が通っていた埼玉県飯能市の加治小学校では、自転車免許証をとらないと乗れなかった。免許も白と黄とあり、乗り方のルールや実地もあり～なとうまくできないと失格。(全国共通かと思っていた)学校でももっと指導して欲しい。
- ・ 私が小学生の頃は学校で自転車の乗り方教育を受講し、免許証をもらって乗っていた。

親の指導について（大人の責任）

- ・ 親が規則も含め、子供を指導すべき（規則については、親が分かるように社会的な啓発が必要だが）
- ・ 自転車の事故が多いので子供に自転車に乗る時のルールをしっかり守るように指導したいと思うが、私自身が交通ルールをよく理解していないので、親として学ぶ場があればよいと思う。
- ・ 子供が初めて自転車に乗った日から、親がルール等きちんと勉強して、子供に教えるべきである。
- ・ 自分の身を守る事も教えて行きたい。
- ・ 自分中心の運転をしないなど家の人もきちんと教育してほしい。
- ・ 具体的な指導を受けたいと思っていた。
- ・ 公園までは歩いて押して行き、車の無いところで乗るように言っている。
- ・ 子供の自転車走行はかなり危険だなあと日頃感じている。
- ・ 道路の怖さを全然知らない。全く感じていない（ようだ）。
- ・ 子供は一点集中なので、色々には目が向かないので、車に限らず歩行者にも気づかないことがあるので危険だと思う。
- ・ 中学生になると、自転車で遠方まで行ってしまうので、ある程度、親の方で制限しなくてはいけないと思う。（基本は学区内だが通塾などもあり、守ることは難しいと思う）
- ・ 車との交通事故が心配なので、自宅の周りだけ乗るようにして遠乗りさせていない。小学生のうちは夜間も乗らせていない。
- ・ 子供には歩行者の安全に気をつけることと、必要ならば降りて押すように言っている。親が教えるのが基本だと思うが、正しい知識のもと教える為に、情報も必要だと思う。子供が自転車に安全に乗るには、道路環境が厳しい、車の運転マナーが悪いなど、不安材料が沢山ある。
- ・ スイスイと乗りこなせるとスピードを出して、歩いている人がいても構わず友人達とびゅーんと走る。息子が中学生の時、横路から来た車とぶつかった事があり、同じ様な事がいつあっても不思議ではない。
- ・ 法律通りだと現状に合わないし、やはり安全第一に考えて、まず歩行者を優先し考えられる危険を教えながら、一緒に実際走ってみるのが良いと思う。
- ・ 学校での自転車についての指導も殆ど無いと聞いており、当面我が子に自転車での外出は禁止している現状である。
- ・ 子供の自転車については大人ができる限りの配慮と指導と大人自身の運転のお手本を示すこと。
- ・ 自転車の乗り方については小さい頃からマナーをきちんと教えるべき。
- ・ 大人が手本となるべきなのに、平気で違反している。これでは子供がマナーを守って自転車を運転する事ができないと思う。

- ・ 自転車に限らず交通ルールを守らない子供が多い。又大人も見本となる行動ができていない。先ず大人から見直しが必要である。
- ・ まず、大人が正しいルールを守り実践すること。それを子どもに見せることだと思う。子どもだけに指導するのではなく、まず大人だと思う。常識のない大人が多すぎるので。
- ・ (小中学生は)大人や高校生の乗り方をまねすることが多いと思う。保護者を含めた指導が必要だと思う。
- ・ 小中学生の自転車走行は、大人の走行の鏡です。とても危険で、自分でも乗るのを控えるようになった。
- ・ 小学生よりも大人の方のマナーが悪いのが目に付く。
- ・ 子供に指導する立場の親や教員達がルールを守っていない。
- ・ 私達大人も知らない事があるので、知らない者が私を含め乗っているのはおかしい。
- ・ 自分が親なら今の道路の状況では、どこを走れるのかと危険過ぎて乗せたくない。交通事故が増えるだけだと思う。
- ・ 現代の法律は“非現実的”であり、改善されるべきですが、命を守る為に、親がどう子供に教えるべきなのか最善のアドバイスが欲しい。
- ・ 子供であっても、自転車事故を起こした時は責任が伴うことをしっかり自覚させる。(実際に取り締まりがあったり、補償問題で裁判もあるということを知らせる)
- ・ また大人でも自転車による違反で罰金がある事を知らないのので販売店にパンフレットがあると良い。
- ・ 自転車と車の事故(接触)の防止について、交通環境、運転の仕方等から真剣に対策を考えていくべき。
- ・ 自転車を遊びとして走らせる場合と、交通手段の場合、きちんと分けて考え、交通手段の場合は必要以上にスピードを出さない、競走しないなど、伝えてゆくべきだろう。
- ・ 安全意識の低さが問題であり、家庭の指導と子供の現状を知る事が大切だと思う。
- ・ 自分の子どもにも乗る側のマナーを知ってもらいたいと思う。
- ・ 交通マナーについて、もっと考える場が必要だと思う。

学校での指導

- ・ 私の記憶では、自転車についての指導などは、体育館に一学年集められ、大きなスクリーンで、ただ声と絵でやっていた。小中学生はどうしても沢山集まると、しゃべるか寝るかで殆ど聞いていない。ユ モアがある映像にするなど工夫が必要。もっと1クラスずつしっかり、これは違法なのだということを教えないと、知らないまま大人になる。それでは指導したことにならないと思う。
- ・ 私が小学生の頃は、学校で自転車の乗り方教育を受講し、免許証をもらって乗っていた。やはり教育が重要だと思う。

- ・ 以前通っていた小学校では、地域の子供会があり、そこで、自転車教室を開いていた。札幌では子供会が無いようだが、学校での指導も(多忙ゆえ)現実には難しいようだ。
- ・ 小中学生にきちんと指導を学校やその他の公の場で行って欲しい。
- ・ 学校でも教えてほしいが法律と現状が違うので難しいのだろうか？
- ・ 小中学生のうちに自転車のルールを正しく教えることが大切かと思うので、現状より詳しい説明を学校においても行えると効果が上がると考える。
- ・ スクールゾーンでは、自転車通行可の歩道設置を市に積極的に要請し、それ以外の車道でも安全に走行出来るように、学校で講習会を行ってほしい。
- ・ 中学生にも安全走行の指導を行って欲しい。
- ・ 中学生への指導を小学生と同じように大人目できちんとすべきと思う。
- ・ 自転車の乗り方指導を、学校や自治体でもっと積極的にやって欲しい。(学校でやっているが、年に1回位でとても少ない)
- ・ 子供も大人も分かりやすいルールブックなどを作り、各自治体等での指導もあつたらいいと思う。
- ・ 子供には交通安全の指導を沢山してあげて欲しい。教育関係者の方で特に。
- ・ 学校でも警察でも充分指導してほしい。
- ・ 左折車や横断の仕方など危ないことなど学校でしっかり注意、指導してほしい。
- ・ 学校では法律に則った指導が行われていない現状なので、歩行者優先、危険な運転についてはまずはしっかり教えた上で地域の実情にあった指導が必要だと痛感している。
- ・ 自転車に乗るときのルールは色々な機会を捉えて教える必要があるが、学校として「あしなさい、こうしなさい」と言うには、現実的に問題がありすぎると思う。
- ・ いくら親や学校、大人が安全に乗ることを教えても、子どもは大人の見ていないところで危険な乗り方をする。ずっと付いて行くわけにはいかず不安である。
- ・ 学校では結構ルールはしっかり教えてもらっているようだ。
- ・ 小中学校では具体的な「自転車の乗り方」についての指導を行っている所は少ないと思う。
- ・ 小学校で自転車の乗り方について指導すべきである。
- ・ 高校生になると、通学に自転車を使うことが多くなるから、中学卒業時などにもう一度ルール等指導する必要があると思う。
- ・ 学校や地域でのしっかりした指導を望む。小さいうちに正しい知識を身につければ、大人になってからの行動も変わると思うし、車の運転をする時も、相手の立場を思いやる事が出来ると思う。学校でも自転車の事故があるし、普段見ているのも怖いと思うことが多い。(親御さんの乗り方もなっていないなあと思うことが多い。)
- ・ 車にぶつかることを前提に、ぶつかりそうになった時の方法、良いぶつかり方を指導した方が良いと思う。

自転車の乗り方の問題（同様の意見の数を で表示）

スピードについて（

同種の意見数 28）

- ・ ただただ、スピードのまま乗っていることが多く目に付く。歩道や人の居ない時間、通りなども、たえず安全のスピードを自覚して乗るように。
- ・ スピードの出しすぎ、一時停止、左右確認不足、車道のわがまま走行。（真ん中走行・ジグザグ走行）
- ・ スピードの出しすぎの子供たちが多い。
- ・ 歩道をスピードを出して走る若者が多く危険だ。
- ・ スピードの出しすぎには注意している。
- ・ 歩道を走る時のスピードをかなり落とす事を教え込んで欲しい。
- ・ 高校生のマナーの悪さ、スピード過信がひどい。
- ・ 歩行者優先・スピードダウン。
- ・ 自転車のスピードは控えめに。
- ・ 私自身自動車に乗ることが殆どで、中学生や高校生になると運動神経が良いせいか、スピードを落とさないまま横断してくるのでおそろしい！
- ・ スピードを落とさずに横断歩道を飛び出すのは大変危険なので、必ず一度止まり左右の確認をさせてから、を徹底させたいと思う。
- ・ 十字路で右左を確認しないでスピードを出して走行する人が多いようである。車運転者も徐行するが、びっくりする時がある。
- ・ スピードで走っているのが危ない。
- ・ スピードを出している事が多く危なくて(乗るのを)中止している。斜めの横断であまりまわりをよく見ていない人がいる。
- ・ 高校生の乗り方のすごさ(信号無視や猛スピード e t c.)を考えると小さい頃のマナー教育が必要！
- ・ お年寄りのそばを速いスピードで通る事がとても危険である。
- ・ スピードの出し過ぎ。信号の無い所での斜め横断。並行走行。確認不足など。
- ・ 歩道をスピードを出して走行している子どもがいるので、危険に感じる事がある。
- ・ 歩行者を追い越す時、ベルを鳴らさず走行スピードのまま走って行く。危険なことだと思う。
- ・ 二人乗り、スピードの出し過ぎ、蛇行運転など見かける。
- ・ 歩行者の近くでも凄いスピードで走るの危険だと思う。
- ・ 小中学生だけではなく、高校生、大学生、一般の大人の乗り方にも、同じかそれ以上に問題がある。（スピードの出し過ぎ、携帯を持ってメールをしなげらなど）

- ・スピードがすごい。
- ・自転車も車と同じでスピードを出しすぎないこと。
- ・スピードの出しすぎ、よそ見、交差点などを特に気をつけてほしい。
- ・駐輪の仕方、スピードの出し過ぎなど。
- ・スピードの出し過ぎ。横道がある場合はスピードをゆるめて確認する。青の点滅も危険だからつっこまない。
- ・高校生がスピードを出して歩道を走っていると、小さい子どもにぶつからないかとヒヤヒヤする。
- ・あまりにスピードを付けて走り過ぎる。

無灯火 (同種の意見数 13)

- ・無灯火も危険と思う。びっくりすることがある。
- ・無灯火の自転車を取り締まって欲しい。
- ・自転車の電気をちゃんとつけて欲しい。
- ・夜間の無灯火走行が非常に多い。
- ・夜などライトもつけずに走っているのでとても危ない。
- ・暗い道を走る時は必ず明かりをつけてほしい。
- ・夜道の無灯火走行が多い。クルマを運転しているとドキッとすることがある。自分の命を守る為に、他者に自分の存在を知らせる為に、ライトをつけて欲しい。
- ・夜間ライトの点灯が無いのを良く見る。
- ・無灯火で走行している自転車が多い。(小中学生に限らず)
- ・左側通行の徹底。夜は必ずライトをつける。
- ・小中学生にかぎらず、夜道の無灯火走行はとても危険。
- ・無灯火に罰金などが必要。これを取り締まることで、少しは事故も防げるのではないか。
- ・子どもだけでなく、大人の無灯火走行が 10 人中 7 人はいる。

飛び出し・危ない横断 (同種の意見数 13)

- ・周りに注意の目が行かず、突然飛び出してくるのがしばしば見られ危険この上ないと思う。
- ・道路を渡るとき等左右確認ができていない。(自転車だけではないのだが)
- ・交差点で左右の確認もせずに突っ切る。
- ・車の飛び出しが危険。
- ・車道に飛び出すことが老人共に多く非常に危険を感じている。
- ・信号以外の所を渡る時が危険。
- ・交差点での注意不足。特に歩道の曲がり角などは見えないので危ない。
- ・交差点で、あまり左右を確かめずに走っているので危ない。

- ・ 横断歩道の左折車は運転手と目を合わせて確認する。
- ・ 斜め横断をやめてほしい。
- ・ 道路のななめ横断や一時停止や確認をしないで横断する姿を見かける。
- ・ 突然飛び出してくるので、夏場はとて車運転が怖い。
- ・ 小中学生は、道路から安全確認をせずに、大通りに飛び出すことが多い。しかし、それより高校生、大人の方がもっと危険だと感じる。

二人乗り・並列走行 (同種に意見数 10)

- ・ 友達と横並びに乗っているのを見かけるので危ないと思う。
- ・ 歩道での並列走行をやめて欲しい。信号無視もかなり有り。
- ・ 多人数で並んで自転車に乗らないように。
- ・ 2人乗りが多く後輪の横軸に足をかけて二人乗りをしているのが見られる。中止して欲しいと思う。
- ・ 高校生同士の二人乗りはやめるようにもっと呼びかけて欲しい。
- ・ 主に中学生の二人乗りや道路を2台並んで走行したり危険な事やマナーの悪さが目立つ。
- ・ 併走しない。
- ・ 友だちと並んで走り、通行人の妨げになること。
- ・ 2台、3台と併走しているのは、ドライバーからしてもあまりにも危険。
- ・ 二列走行を止めて欲しい。中高生も多い！

片手運転(ながら運転) (同種の意見数 7)

- ・ 雨の日に傘を差して乗っているのが危険。(高校生に多い)
- ・ 雨降りには乗らないで欲しい。
- ・ 最近携帯電話をかけながら又メールをしながら自転車に乗っている子供(特に中学生?)を見かけるが、とても危険だと思う。
- ・ 何列にもなって構わず話しながらスピードを出していたりして大変危険。
- ・ 携帯を使用しながら乗ること。
- ・ 物を食べたり飲んだり、電話をしながらなどの、「ながら運転」の危険性をきちんと理解して欲しい。
- ・ 中高校生の携帯電話をかけながら走ることは100%禁止してもらいたい。

冬道の自転車 (同種の意見数 3)

- ・ 冬に自転車に乗ることをしないで欲しい。
- ・ 冬道の自転車禁止して欲しい。
- ・ 冬道の自転車は乗らないで欲しい。

違反について

- ・ 小中学生に限らずルール無視(無知)で、我が物顔での走行(歩車道とも)が多く、ルールの周知、罰則の適用が不徹底と思う。
- ・ 警察がもっと厳しく取り締まっても良いと思う。
- ・ 中学生が禁止されているのにも拘らず通学に自転車を使うのはよくない。
- ・ 青少年(若者)の無謀な自転車運転で怖い思いを何度もしたことがある。

車側から見て

- ・ 小中学生に関係なく平気で車道や一時停止を無視するので、車を運転する側からしたら迷惑だと思う。
- ・ 自転車の急な飛び出しなど、自動車を運転しているとヒヤヒヤすることが度々ある。いくら運転に気を付けていても、自転車側もルールとマナーを守ってくれないと、事故につながる可能性は大きい。
子どもであっても、自分の命を守る為に、しっかりルールを教えるべき。
- ・ 自動車が近づいても速度を落とさず止まってくれると思っている子供たちが多い。
- ・ 車の走行時、横断歩道を通過する時、急に自転車が出てくるので、運転手が気を付けていても…いつ事故が起きてもおかしくないと思う。
- ・ 車の運転側のマナーの悪さも(1割以下とは思いが)大変危険。
- ・ 車を運転していると自転車は大変怖く邪魔だと思っていた。特に車道を走っている自転車は「あぶないなー」と感じていた。
- ・ 自分自身毎日車を運転しているが、子供が自転車を使うと言う事をもっと当たり前前の事と考えて注意しなければいけないと思う。
- ・ 車が動いているのにも拘らず、自転車ですれすれに向かってくる。ひやひやさせられることが多い。
- ・ 交通量の少ない道路で、クルマのドライバーはきちんと信号を守っているのに、自転車の人は車が来ていないと信号を無視して渡る人をよく見かける。
- ・ 自動車を運転している人の死角や自動車の危険性についても併せて指導する。
- ・ 自分の経験ですが、運転免許を取って運転するようになってから、自転車に乗る時に、車の動きや運転手の心理などを推測しながら乗るようになった。自動車の運転と絡めた指導(左折車の巻き込みの危険など)も必要なのではないかと思う。
- ・ 自分は運転するのですが、歩行の親と一緒に子供が自転車に乗っていて、車が来ると子供の運転のまずさや車道の真ん中を思いっきり走って、子に非はあっても、車に対して睨みつけたりと、大人としての指導が不足していると思うことがある。
- ・ 小中学生に限らず年配の人の自転車も安全確認をしないまま斜め走行し、車を運転中ヒヤッとした事が何度かある。
- ・ 小中学生より高校生、大人の方がもっと危険だと感じる。安全確認をしないだけでなく、車道を右側走行をしているケースが2回あった。車を運転していたので、轢き殺しそうになった。自分の命には頓着していないとしても、その為に他

者の安全を奪うことがある、ということを知って欲しい。交通弱者が加害者になることもありうる。もちろん被害者になることの方がうんと多いのだけれど・・・。

自転車のメリット

- ・ 車と比べれば誤差にもなら無いCO2 排出量！
- ・ 自転車はとても楽しい乗り物です。
- ・ 環境と健康に良い自転車は好きです！
- ・ 自分自身の経験から、幼い時、初めて「自転車」と言う乗り物を得て、歩くのとは格段に違うスピード、移動距離に感動した事は忘れられない。のびのびと子ども達の活動空間を、自分で、自転車によって広げられる環境を創って行きたいものだと思う。究極の「エコ乗り物」に違いない。
- ・ 遊びとしての走行も魅力的。そういう環境(自転車専用公園)を大人が(行政が)用意して上げられると良い。道具として沢山の遊びも経験している方が、いざ公道に出るとき危なさも身体で知っているのも、自然とマナーが身につく正しく使えると思う。(ナイフも同じことですよ)

その他

- ・ 自転車に乗っている側がでたらめすぎ。海外から戻ってきた人々は特に驚いている。
- ・ 自転車は危険な乗り物だが、子供から取り上げてしまうことはしたくない。
- ・ 安全意識の低さが問題。
- ・ 小中学生は学校で指導できるので改善の余地はあると思うが、10~20代の若者やオバサンたちの目に余る自転車の乗りの方が問題だ。自転車に限らず日本人のモラルの低下が一番問題だと思う。
- ・ 自転車公園は、きっと交通ルールを知らせる為の公園なのだと思うのだが、守っているのは少数で、自動車が無いので乗りたい放題という印象だった。傍にいる大人も歩行者に対して「ぶつかったら危ない」とだけの認識しか見受けられず、きちんとした交通ルール、決まりが守られているとは思えなかった。とても危険を感じた。
- ・ 幼児が遊んでいる公園で自転車遊びをしている子供がいる。そのようなことの指導・・・
- ・ 小学生が乗っている自転車に、小さい子がぶつけられて脳挫傷と言う話も聞いたので、危険であることも学校なり家で教えてほしい。
- ・ 学校の登下校は自転車禁止なのだが、それ以外は実際に乗っているのが現実。きちんとした安全走行の学習は必要ではないかと思う。ただ今の車社会で安全に乗ることはとっても危険が大きくて無理な点があると思うのだが。
- ・ 大きくなる程マナーが悪い。車や人がよけてくれると思っているように感じる。
- ・ 自転車=車両の意識は殆ど無いと思う。交通安全教室でも、対車両との事故防止が多いので、人と自転車については殆ど触れていないと思う。

- ・ 遊びに夢中になって周りを見ていない子供も多く見られるので危険を感じる時がある。
- ・ 本題からそれますが、夫婦で話し合いながら記入しました。このような取り組み、応援しております。
- ・ 私は自転車を利用しないので、実際に詳しいことは分らないが、貴会の趣旨は賛同するので徹底して追及して欲しい。
- ・ 子供たちには冷静に自分の立場を理解し、常に臨機応変にして自身で問題を解決してゆく力を身につけて欲しいと思っている。特に交通安全では他人に頼らず自分で安全確認するくらいの力量を見につけて欲しいと願っている。危険なことばかりなのだから。
- ・ 盗難が多くて困っている。
- ・ 年齢を重ねたらあまり乗らない。
- ・ 特に札幌駅周辺の信号が同方向であっても車道と横断歩道の信号が違う事があり、自転車に乗っている時だけで無く、歩行時でも勘違いしやすい。子供に注意しておきながら私自身も間違えて赤信号で渡ってしまった事があるし、他の大人の方も何度か同じ経験をされているのを見たことがある。
- ・ 信号のある交差点は別として、住宅街に“止まれ”の表示がどちらにも付いていない所がある。大人は一時停止出来るが、子どもは出来ないと思うので、「全ての個所に“止まれ”の表示を付けて欲しい」と、いつも思っている。
- ・ 中学生以上の移動範囲が広がった学童にとって、(自転車は)有効な移動手段。安全に走行出来る自転車用の道(?)が欲しい。



以上、自転車にとって「車道走行は危険であるから避けたい」という意見が多く、これを反映するように現実に多くが歩道を走るため、(歩行者の立場から)自転車のスピードの出しすぎが最大の問題として挙げられた。歩道を歩く側にとって、自転車との混在は、すなわち危険を意味している。だからと言って、生身の身体で自転車に乗り、エネルギー的に遥かに勝る車と併走するのは、子どもには勧められない。やはり、歩行者を脅かさず、車からあおられずに済むような自転車専用のレーンが不可欠であろう。走るべき場所があってこそ交通ルールを共有することができ、子どもたちに対し、明確に指導・教育できるのではないだろうか。

参考資料・データ等

「歩車分離信号機」設置の交差点における自転車通行調査

さて、実際に自転車は、歩・車道どちらを通行しているのでしょうか？

歩車分離信号が設置されている交差点において、自転車が、歩行者、車両のいずれの信号に従って横断しているのか、30分乃至1時間、それぞれの台数を調査した。車両信号に従って軽車両として横断しているのは、50台に1台程度であった。9割以上の自転車が歩行者信号に従い、歩行者に混在して降りずに乗ったままで渡っていた。

札幌市内	歩行者信号に従って横断		車両信号に従って横断	計
	自転車に乗ったまま	自転車から降りて		
A 交差点	51	7	2	60
B 交差点	130	13	3	146
C 交差点	62	1	0	63
D 交差点	66	8	3	77
E 交差点	105	1	0	106
F 交差点	170	3	5	178
計	584	33	13	630

(表1) '06.10~11月「道はだれのもの？」会員調査より(数字は台数)

児童・生徒を対象に学校で行われる交通安全教室において、自転車指導については、どのような実態なのだろうか？交通安全運動推進委員会に実施状況を伺ってみた。

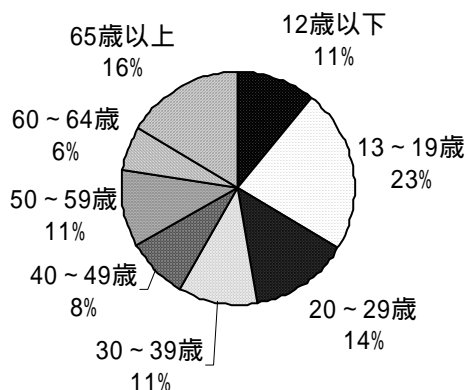
平成18年度、札幌市内の小中学校では210校中207校で交通安全教室が実施されている。自転車の実技を含む指導は、2つの区においてだけであった。推進委員会と自転車安全教育指導員、警察、自転車組合等が連携し、少年野球チームや希望者を対象にグラウンドで実技指導を行った例もある。

中学校については、現行の職員体制では中学校にまでは対象を広げ難い。過去に実績もなく、また、学校側からの実施要望もないため実施されなかったそうである。

「道交法」において自転車は「車道走行」を定められているが、ある区の交通安全協会では、「小学生には歩道通行するように指導をしている」と言明された。自転車が走れる余裕のある歩道が多く見られる郊外ならではの処置と想像できる。小学生時代に教わった事はその後の行動に大きな影響を与えられるので、中学、高校生に対して改めて原則を教え直す自転車安全教育の必要性が求められる。

T (表 & 図A) 年齢層別自転車関連交通事故 (平成 17 年) TT

年齢層	事故件数
12 歳以下	20,036
13 ~ 19 歳	41,725
20 ~ 29 歳	25,104
30 ~ 39 歳	20,393
40 ~ 49 歳	15,461
50 ~ 59 歳	19,751
60 ~ 64 歳	10,886
65 歳以上	30,297
計	183,653



(表 B) 軽車両の検挙件数 (平成 17 年)

違反別	検挙件数
信号無視	105
通行禁止違反	1
指定場所一時不停止	111
無灯火	4
乗車・積載違反	36
酒酔い運転	15
運転者の遵守事項違反	3
その他	51
合計	326

(表 C) 自転車に係る指導警告票
交付件数 (平成 17 年)

違反別	交付件数
無灯火	365,379
二人乗り	335,874
信号無視	81,379
一時不停止	82,103
歩行者に危険を及ぼす違反	100,710
その他	161,886
合計	1,127,331

表 A ~ 表 C 「自転車の安全利用の促進に関する提言」(H.18 自転車対策検討懇談会) より

(表 D) 主要国における自転車に乗っていて事故で死亡した人の割合

	自転車事故死者数 (人)			交通事故死者数 (人)		自転車の割合 (%)	
	1980 年	2002 年	増減 (%)	1980 年	2002 年	1980 年	2002 年
日本	1,366	1,305	4.5	11,388	9,575	12.0	13.6
米国	965	665	31.1	51,091	43,005	1.9	1.6
ドイツ	1,338	583	56.4	15,050	6,842	8.9	8.5
フランス	709	223	68.5	13,672	7,655	5.2	2.9
英国	316	133	57.9	6,239	3,581	5.1	3.7
オランダ	425	169	60.2	1,996	987	21.3	17.1

朝日新聞 '07.2/9 朝刊：国土交通省交通政策研究所「都市交通における自転車利用のあり方に関する研究」('05.11) から

アンケートに見る「走行ルールの認識」

発行 2007年3月

～車優先を見直す道づくり～

道はだれのもの？札幌21

<http://www.ne.jp/asahi/michiwa/sapporo21>

代表 大場邦夫

〒063-0012 札幌市西区福井3丁目5-2

Tel&Fax 011-663-6223

このアンケート調査と冊子の発行は、「財団法人秋山記念生命科学振興財団」の社会貢献活動助成を受けて行われました。